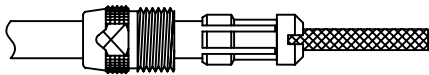
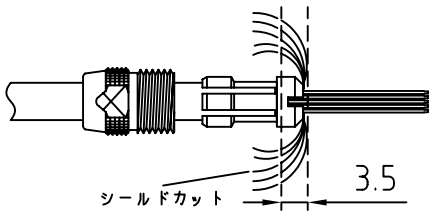


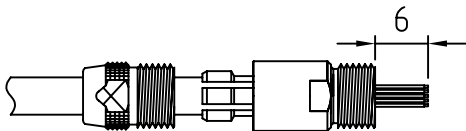
① ケーブル外被を20mmストリップする。



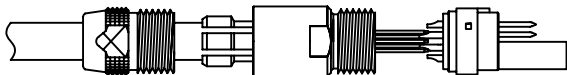
② バックナットとコレットをケーブルに挿入する。



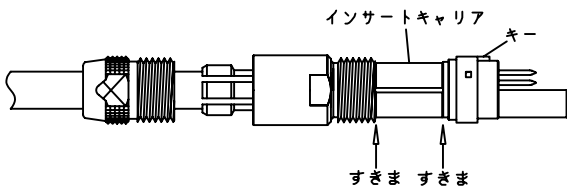
③ シールドをコレットのテーパーにそうように折り返し、 $3.5 \pm 0.5\text{mm}$ 残しカットする。



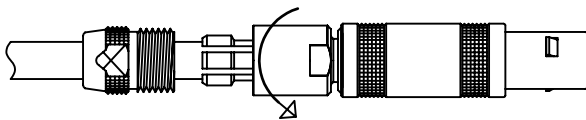
④ センターピースを挿入する。  
\*センターピースより出ている単線長が6mm以上有る事を確認する。



⑤ インシュレーターのコンタクトピンにハンダ付けする。



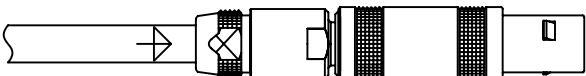
⑥ インサートキャリアを付ける。  
\*センターピース $\leftrightarrow$ インサートキャリア  
\*インサートキャリア $\leftrightarrow$ インシュレーター  
の間にすきまが出来ないように取り付ける。



⑦ アウターシェルを挿入する。  
\*インシュレーターのキーとアウターシェルのキーを合わせる。

⑧ センターピースを回転させアウターシェルに締め込む。

重要!! 旧タイプではアウターシェルを回転させて、センターピースとの取り付けを行えたが、新タイプではキーが有るためアウターシェルの回転は出来ない。  
(アウターシェルを回転させると、インシュレーターまで回り断線の恐れがある。)



⑨ バックナットを締め込み、完成。

重要!! バックナットを締め込む際はケーブルをコネクター側に押し付け、ケーブルがバックナットの締め込み回転につられて回らないようにする。

- ・ケーブルをコネクター側に押し付けないとシールドが巻きこまれる事がある。
- ・Bシリーズ等はコレットまでキーがありケーブルが回る事は無いがこのコネクターではコレットがフリーのためケーブルが回り断線の恐れがある。

TITLE FFA.0S.3xx.(CLAK(オーバーサイズコレット)) アッセンブリ説明書				Scale	Designed	T.Sugiyama	13.11.19
					Checked	F.Borsari	13.11.19
					Rev No.	00	13.11.19
TYPE	DE	DATE	2013.11.19	DWG No.			
				FFA.0S.3xx.CLAK			